

ちむ美らさ

第78号
 発行: 北部農林水産振興
 センター農業改良普及課
 沖縄県名護市大南1-13-11
 電話: 0980-52-2752
 FAX: 0980-51-1013



9~11月は「秋の農作業安全運動重点期間」です。

農作業事故は、耕耘機など農業機械の転倒や回転部への巻き込まれが多く、60歳以上の高齢者の事故が多く発生しています。

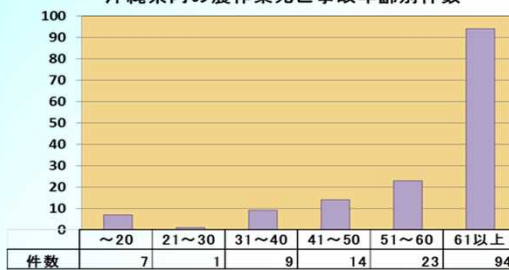
沖縄県内の農作業死亡事故の発生状況



平成27年12月末現在

【最近の事故例】

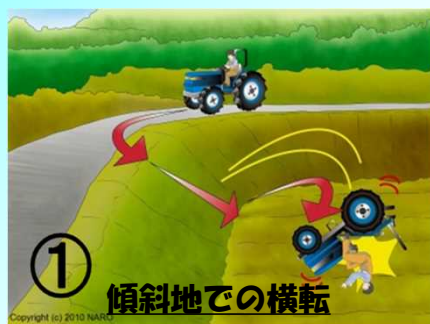
沖縄県内の農作業死亡事故年齢別件数



※昭和47年から平成27年までの累計

-目次-

- 1P 作業安全運動
- 2P たまねぎ栽培
- 3P かぼちゃ
- ほ場準備・着果対策
- 4P パインアップル
- 夏植・台風対策



- 1 服装は、作業に支障のないものを着用すること。
- 2 始業時の車輛等の点検は必ず励行すること。
- 3 運転作業中は、絶対に子供を近づけないこと。
- 4 作業機の脱着には、十分に注意すること。
- 5 作業中の調整や詰まりの除去は、機械の回転が止まってから行うこと。
- 6 機械の性能以上の無理な作業はしないこと。
- 7 傾斜地作業は、横転、横滑りに注意すること。
- 8 作業終了が近いからといって決していそがないこと。
- 9 作業終了後は、機械の清掃に努めること。
- 10 明日への作業のため、休養は十分にとること。
- 11 枯葉や雑草の焼却作業は例外的に認められる場合があるが、その際は市町村等へ届出のうえ、十分注意して実施すること。

(担当: 川之上)

タマネギ栽培のポイント



沖縄のタマネギ栽培は高温を避けた9月～翌年5月頃(秋から春)が適しています。
品種は日長条件が短くても球肥大する**極早生品種**を推奨します。

①定植準備

- 堆肥および基肥は適量を入れる(リンの施用は必須)。
- 肥料過多は首太・分球・抽台を助長するので施肥量には注意する。
※土壌分析を行い、土壌に適した施肥をしましょう。
- 根の活着を促すため、マルチを張る直前にかん水を行う。
- 畑の周囲には防風ネット・垣を設置する。

表1. 300坪当たりの施肥量目安 (kg)

肥料成分	基肥	追肥	
		1回目	2回目
堆肥	2500	-	-
N	16	4	3
P ₂ O ₅	18	3	4
K ₂ O	11	3	4

(H26版沖縄県野菜栽培要領参考)

②定植時～生育初期

- 苗やセット球は極端に大小なものは使用せず、大きさは揃える。苗は太さが4～6mm程度、セット球は球径が1.5～2.0mm程度のものを使う
※大苗・大セット球を使うと抽台・分球率が高まります。
- 根が活着するまではこまめにかん水をする。



防風ネット・垣の設置



雨よけの設置(例)

③生育期間中～肥大期～収穫期

- 追肥は生育の様子を見ながら行い、後半に窒素分を効かせないようにする。
- 1～2月は降雨の多い時期にあたり、葉や球内部に病気や腐れが出やすいため殺菌剤の予防散布や雨よけ用の被覆資材の設置を行う。
※雨よけ被覆資材は肥大期に設置する。
- 収穫物は葉や根の切断面を十分に乾燥させてから出荷する。

《分球・抽台について》

- 分球**・・・タマネギが生長過程で、球が2つ以上に分かれてしまうこと。品種によっても発生率は変わるが、過肥や大苗・大セット球を使うと発生しやすくなる。
- 抽台**・・・一定以上生長したタマネギが低温にさらされた後に、高温・長日の環境下で生理的に花芽が形成されること。球内に固い芯ができ商品価値が下がる。



(担当: 平)

かぼちゃのほ場準備と安定着果対策

ほ場の準備や安定着果対策にしっかり取り組み、かぼちゃの収量アップ・品質の向上を目指しましょう。

〔ほ場準備〕

高品質なかぼちゃを作る為に必要な堆肥ですが、堆肥は植え付けの**1ヶ月前**までに畑にすき込みましょう。

特に未熟堆肥
生の有機物には注意！
トラブルの原因に・・・



葉焼け



根焼け

〔安定着果対策〕

「えびす」は年によっては、10月中旬植えても花粉の出が悪い年があります。(主に低温が原因)リスク回避のため、花粉の出が良い品種の導入を行いましょ。

例) くいほまれ、くい将軍、ほっとけ栗たん など



えびす (花粉なし)



くい将軍 (花粉あり)

普及課で実施した展示ほの結果では、「くい将軍」は「えびす」に比べ花粉の出が良い事がわかりました。

〔日焼け・品質低下対策〕

交配後に葉が残っていないと、果実の日焼けや品質低下につながります。定期的な薬剤散布を行い、病害予防に努めましょう。

パインアップル 夏植えのポイント

○圃場準備

・土塊が大きいと発根が悪くなり、生育が遅れます。ロータリーを用いて土塊が細かくなるように**碎土**しましょう。

排水が悪い場合は深耕やフラソイラで**排水対策**を行いましょう。



フラソイラ

○苗の準備

- ・ **200～300g**の苗を準備しましょう。
- ・登録農薬で苗を**浸漬処理**し、カイガラムシと心腐病の対策をしましょう。

○植付時期について

- ・遅くとも**10月上旬**までには**植付**しましょう。植付を遅らせると苗の活着が悪く、生育が遅延するうえ、心腐病、基腐病などにより苗が腐敗するため注意が必要です。

・台風対策について

- ・9月、10月も台風は接近します。植付後の台風対策として**日焼け防止ネット**等をべたがけし、**鉄筋**等で**周囲を抑え**対策しましょう。



べたがけの様子